

令和7年度 学校評価

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	関係者 評 価	意見
ア	自主的・自律的な学ぶ 姿勢の育成と、確かな 学力の定着	少人数授業、習熟度別授業、TT等による授業実施	A	生徒にとって満足度の高い学習指導がされている。
		補習・学習相談等の実施	A	生活環境や学習能力・個性・進路などさまざまな事情や条件を抱える生徒個人々の状況に応じた丁寧できめ細かい対応がなされている。
		丁寧な学習指導・修得を目指した履修指導	A	学習の遅れが見られる生徒、モチベーションが低い生徒に対して粘り強く対応していることが結果として単位修得に結びついている。
		年度当初に実施する諸検査及び教科科目の小テスト等で生徒一人一人の学力を把握し、それに基づいて授業改善に取り組む	B	アセスメント結果活用を期待する。
		授業のユニバーサルデザイン化と生徒の主体的な学習の推進を目的に ICT 機器を積極的に活用して授業改善に取り組んだと答える教員 85%以上（令和6年度 88.9%）	A	より多くの教科で ICT 機器を活用しての教材提供が工夫されている様子がうかがえる。 授業改善については継続的な取り組みが必要である。
		全教員の授業相互参観の実施（年1回以上）	A	特に単位の修得率の低い授業は管理職が重点的に参観するなどの対策が必要。
		授業評価で授業がわかりやすいと答える生徒 85%以上（令和6年度 88.4%）	A	着実な授業改善への取り組みが、生徒からの「授業が分かりやすい」という評価につながっている。今後も改善への努力を続けていただきたい。
		生徒の実態に応じた教育課程の編成と生徒の進路希望に応じた履修指導	A	履修チェックシートやアンケート結果を活用しての生徒の実態に合った柔軟な取り組みに期待する。
		・校内（全体・チーム）研修の実施（10回）	A	教職員全員が研修内容を共有し一丸になるように期待する。

イ	基本的な生活習慣の確立と、自立心と社会性の涵養	家庭連絡や定期的な出欠情報の提供（毎月）	A	授業に出席する意義・楽しさが認知されるようになったのは家庭への理解を進めた成果であると思われる。
		各授業の欠席、遅刻の減少を進め、履修率 68%以上（令和6年度 67.4%）	A	家庭とのこまめなやりとりが功を奏し、欠席・遅刻が減少し履修率が向上したのは望ましい。
		3、5、7限の校内巡視による時間厳守の呼びかけ	A	時間厳守や自然な挨拶を推進するためにはあらゆる場面で先生方の声掛けや見回りに期待したい。
		進んで挨拶ができると答える生徒 75%以上（令和6年度 68.9%）	A	他校に比べると自発的な挨拶ができる生徒が少ないと感じている。HRの時間等を使って生徒の意識付けをお願いする。
		毎朝の登校指導、公共マナーに関する働きかけ	A	IT化が進めば進むほど「目配り」「気配り」「心配り」に配慮する必要があると思われる。今後の挨拶・マナー指導や環境教育に期待する。
		日常清掃や草花の育成等、環境美化活動の実施により、教室等校内がきれいだと感じる生徒の割合 90%以上（令和6年度 88.0%）	A	自分たちの生活空間が心地よい環境となるよう積極的な指導をお願いする。
ウ	キャリア教育を通して、一人ひとりの生き方の育成	進路講演会、キャリアガイダンス等の実施（9回）	B	多岐にわたる生徒たちの進路希望の実現のためにも、進路実現のための講演会やガイダンスの有益な継続をお願いする。
		担任を軸とした適切かつ個に応じた進路指導、面談を通じた進路実現への道筋提供	B	中退・離職・進路未定などのリスクにつながることを防止するために卒業後の追跡調査ができればと思います。
		進路指導が子どもの進路実現のために役立っていると答える保護者 85%以上（令和6年度 81.1%）	B	進路指導を保護者と共有することの難しさがあると思うが、ぜひ取り組みを続けていただきたい。

		就職及び大学進学指導 力向上のための連絡会 議	B	十二分な情報収集と提供を期待する。
		就職者への個別支援、 求人依頼企業との関係 構築	B	関係企業との連携や情報交換などにより積極的な進路指導に期待する。
		「進路のしおり」の改 善、「進路だより」の発行	B	「進路のしおり」「進路だより」の使用については生徒への適切な声掛けをお願いする。
		リベラ・ヒューマン・ サポート、青少年就労 支援ネットワーク静岡 （「ほっとカフェ」の運 営等のNPO法人との 連携	B	就労が難しい生徒、中退する生徒など、学校を離れた後に支援の場が少なくなってしまうケースについて、外部機関との連携をお願いする。
		外部講師による講話・ 実習の実施	B	各種講話や実習などをフル活動するためにも事前事後の声掛けや生徒の反応に応じた事前事後の進路指導に期待する。
エ	心身ともに健康で、他を 思いやる心豊かな感性 の涵養	スクールカウンセラー を活用した個に応じた 細やかなカウンセリング の実施（通年）	A	相談室の利用やSC、SSWに相談に来る教員が少ないと感じています。
		「相談室だより」の発行 （9回）（令和6年度11 回）	A	「相談室だより」は、充実した内容に良くまとめられていると思う。今後も継続、改善され、内容が周知徹底されて行くことを期待する。
		バッテリーテストを用 いた初期指導の充実	A	バッテリーテストのデータ活用を含め、生徒指導とは別の視点で対応する意識をより多くの教員に持ってもらいたい。
		「保健だより」の発行（ 9回）（令和 6年度11回）	A	相談室だより」の発行はとても有効だと思われる。
		校内研修、講演会の実施	A	充実した教育活動のための有用な研修会・講演会の実施に期待する。
		特別支援学校及び通級 学級(中学校)への視察	A	通級指導については、より多くの先生方の参観を望む。
		「図書だより」の発行 （9回）（令和6年度10 回）	A	図書だよりは内容が吟味されており、生徒が興味を持つような工夫がされていると思います。”

		図書室を利用したイベントを実施し、図書室利用者数の増加を図る	A	開放的で明るい図書館は大いなる癒しの効果を発揮している。生徒が高い意識をもって自発的に活動している。
		PTA 花いっぱい運動による花壇や中庭等 美化活動（2回）	A	美化活動は、癒し効果を発揮しているものと思われる。
		PTA、後援会等の文化祭や学校行事への支援（3回）	A	保護者や地域の人々も多く参加されており、長陵高校を知って貰える良い機会になれば、と思いました。
		部活動指導により、部活動に満足していると答える生徒 90%以上	A	部活動の活性化を期待する。
		生徒主体の文化祭を実施し、文化祭に満足していると答える生徒 70%以上 (令和6年度67.6%)	A	実施されたイベントや展示などでは、制作や作品に自分の意図を示すなど、工夫されており、良い活動になっていたと感じた。
オ	東部の生涯学習拠点として、開かれた学校づくりを推進	科目履修制度の充実、広報	B	生涯学習の拠点校たるべく、科目履修生受け入れを期待する。
		放送大学、静岡中央高校通信制課程及びふじのくに中学校との連絡会議（毎月）	B	今後も強固な連携を期待する。
		他機関との連携による継続した学び（ふじのくに中学から本校へ、本校から放送大学へ、など）についての調査、研究	B	地の利のメリットを最大限に発揮することを願う。
		学校魅力化方策の立案及び実施	B	他校の視察など、積極的な情報収集、活動がなされている。生徒のための改善をしていただければと思う。
		HP の充実・活用(週2回以上)	A	学校 HP や校長日記をはじめわかりやすい学校案内等による情報提供は非常に有効だと思われる。
		39 メールによる的確な情報発信	A	更に充実した適時的確な情報発信に期待する。
		学校案内や学校紹介の改善（毎年）	A	中学校教員への学校紹介が重要だと考える。
		学校見学、個別説明を希望する保護者や生徒への丁寧な説明と対応	A	地域に根差した拠点校としての丁寧でわかりやすい情報提供に期待する。
カ	適正な事務処理及びワークライフバランスの	監査での文書指摘事項ゼロ	A	適切な運営・対応がされている。

充実	適切な窓口及び電話対応(毎日)	A	毎回のわかりやすい資料提供や親切な窓口・電話対応には感謝している。
	施設、設備の安全点検(毎月)	A	努力されている様子が十分に伺える。
	図書室の開室(生徒登校時毎日)	A	図書室が、いつも整然と明るい雰囲気であるよう環境整備が行き届いており、素晴らしい。
	週1回の定時終業を実施する。	A	教職員の心身の健康維持のためにも、働き方改革推進の一環としての取り組みとして有効である。